

甲賀広域行政組合管理者 生田 邦夫 様

甲賀広域行政組合監査委員 山川 宏治

甲賀広域行政組合監査委員 山中 修平

令和 2 年度甲賀広域行政組合一般会計歳入歳出決算審査意見書の提出について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により審査に付された令和 2 年度甲賀広域行政組合一般会計歳入歳出決算並びに関係帳簿及び証拠書類を審査した結果について、下記のとおり意見書を提出します。

なお、本審査は、甲賀広域行政組合監査基準に準拠しています。

記

1. 種類 決算審査
2. 審査対象 令和 2 年度甲賀広域行政組合一般会計歳入歳出決算
3. 着眼点 決算その他関係書類が法令に適合し、かつ正確であるかを主眼として審査するものです。
4. 審査期日 令和 3 年 8 月 20 日（金）
5. 実施内容 審査にあたっては、管理者から提出された令和 2 年度甲賀広域行政組合一般会計歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書等の書類が、関係法令に適合しているか、その計数が正確であるかについて、関係諸帳簿と照合を行うとともに関係職員の説明を聴取して実施しました。
6. 審査結果 審査に付された令和 2 年度甲賀広域行政組合一般会計歳入歳出決算書及び付属書類は、いずれも関係法令に適合しており、かつ計数も正確であると認められました。また、予算の執行状況及び決算の内容については、適正であると認めました。

審 査 結 果 調 書

決算概要

審査した令和2年度甲賀広域行政組合一般会計歳入歳出決算の概要は、次のとおりです。

当年度における予算額は、当初 35 億 8,311 万 8,000 円、補正額△8,390 万 8,000 円により、34 億 9,921 万円となっています。

これに対する決算額は、歳入総額 35 億 1,653 万 6,367 円（収入率 100.50%）、歳出総額 34 億 6,921 万 7,643 円（執行率 99.14%）、差引残額 4,731 万 8,724 円となっています。

消防本部の電光掲示板移設工事に係る財源 500 万円を繰越明許しておりますので、翌年度に繰り越すべき財源である 500 万円を差し引いた実質収支は 4,231 万 8,724 円で、前年度の実質収支額 4,378 万 4,235 円を差し引いた単年度収支は、△146 万 5,511 円となっています。

歳入歳出決算状況

（単位：円・％）

区分	予算現額 A	収入済額 B	収入率 B/A	支出済額 C	執行率 C/A	形式収支額 B-C
令和2年度	3,499,210,000	3,516,536,367	100.50	3,469,217,643	99.14	47,318,724
令和元年度	3,583,202,000	3,602,376,248	100.54	3,558,592,013	99.31	43,784,235
増減額	△83,992,000	△85,839,881	-	△89,374,370	-	3,534,489

決算収支状況

（単位：円・％）

区分	令和2年度	令和元年度	前年度対比
形式収支額①	47,318,724	43,784,235	8.07
翌年度繰越財源②	5,000,000	0	-
実質収支①-②	42,318,724	43,784,235	△3.35
単年度収支	△1,465,511	1,588,802	-

歳入において、収入の内訳では、行政財産使用料、清掃手数料、消防手数料として、3 億 8,698 万 6,150 円を収入し、全体の 11.00%を占めています。前年度比較では、3,794 万 4,450 円の減となっており、コロナ禍で事業系のごみ量が減少したことが主な要因となっています。

国庫支出金として 1,177 万 3,000 円（0.33%）を収入し、内、衛生関係のごみ処理施設基幹的設備改良事業にかかる循環型社会形成推進交付金が 1,106 万 9,000 円、消防関係の搬送用アイソレーター装置にかかる緊急消防援助隊設備整備費補助金が 70 万 4,000 円となります。

諸収入として 1 億 9,854 万 2,865 円（5.65%）を収入し、内、平成 30 年度から構成市の委託を受けて取扱っている市指定ごみ袋に係る収入が 1 億 6,143 万 4,800 円となります。他に滋賀県防災航空隊派遣に係る交付金及び助成金として 2,062 万

1,986円、高速道路支弁金として1,005万5,340円等を収入しています。

また、組合債については、衛生関係でごみ処理施設基幹的設備改良工事に係る1,980万円、消防関係で救助工作車1台の更新、非常用自家発電設備1基の更新に係る1億2,200万円が収入されています(4.03%)。

これら以外、収入の大部分77.71%については、組合を構成している甲賀市・湖南市からの負担金で賄われており、27億3,262万7,000円を収入しています。

歳入 (単位:円・%)

区分	令和2年度		令和元年度		増減額	前年度 対比
	決算額	構成比	決算額	構成比		
分担金及び負担金	2,732,627,000	77.71	2,840,102,000	78.84	△107,475,000	△3.78
使用料及び手数料	386,986,150	11.00	424,930,600	11.80	△37,944,450	△8.93
国庫支出金	11,773,000	0.33	931,000	0.03	10,842,000	1164.55
繰越金	43,784,235	1.25	42,195,433	1.17	1,588,802	3.77
諸収入	198,542,865	5.65	201,722,829	5.60	△3,179,964	△1.58
組合債	141,800,000	4.03	92,400,000	2.56	49,400,000	53.46
財産収入	1,023,117	0.03	94,386	0.00	928,731	983.97
合計	3,516,536,367	100	3,602,376,248	100	△85,839,881	△2.28

次に、歳出においては、各科目で順当に予算が執行されています。

決算額を目的別にみると、衛生費において10億3,433万5,435円を執行し、全体の29.81%を占めています。また、消防費においては、18億5,132万2,177円(53.36%)を執行しています。

地方債償還に係る元金・利子である公債費は、5億1,227万2,122円(14.77%)となっています。

歳出(目的別) (単位:円・%)

区分	令和2年度		令和元年度		増減額	前年度 対比
	決算額	構成比	決算額	構成比		
議会費	697,121	0.02	694,426	0.02	2,695	0.39
総務費	70,590,788	2.04	81,189,115	2.28	△10,598,327	△13.05
衛生費	1,034,335,435	29.81	1,100,734,415	30.93	△66,398,980	△6.03
消防費	1,851,322,177	53.36	1,826,862,766	51.34	24,459,411	1.34
公債費	512,272,122	14.77	549,111,291	15.43	△36,839,169	△6.71
予備費	0	0	0	0	0	-
合計	3,469,217,643	100	3,558,592,013	100	△89,374,370	△2.51

性質別にみると、職員給与、共済組合負担金、退職手当組合負担金などの人件費が18億216万4,544円で歳出全体の51.95%を占めており、次いで業務委託料、電気使用料、燃料費、薬剤費などの事業を遂行する中での消費的経費である物件費が7億5,132万3,687円で21.66%を占めています。

また、庁舎修繕や衛生センター設備修繕に係る維持補修費が、1億8,093万9,715円(5.21%)となっています。

令和2年度に実施した、基幹的設備改良事業、救助工作車1台の更新、非常用自家発電設備1基の更新など普通建設事業費は、1億7,227万5,400円(4.96%)となっています。

歳出(性質別)

(単位:円・%)

区分	令和2年度		令和元年度		増減額	前年度 対比
	決算額	構成比	決算額	構成比		
人件費	1,802,164,544	51.95	1,821,678,050	51.19	△19,513,506	△1.07
物件費	751,323,687	21.66	752,222,353	21.14	△898,666	△0.12
扶助費	30,165,000	0.87	29,850,000	0.84	315,000	1.06
維持補修費	180,939,715	5.21	272,801,029	7.66	△91,861,314	△33.67
補助費等	20,077,175	0.58	15,922,290	0.45	4,154,885	26.09
普通建設事業費	172,275,400	4.96	117,007,000	3.29	55,268,400	47.24
災害復旧事業費	0	-	0	-	0	-
公債費	512,272,122	14.77	549,111,291	15.43	△36,839,169	△6.71
積立金	0	-	0	-	0	-
合計	3,469,217,643	100	3,558,592,013	100	△89,374,370	△2.51

むすび

以上が、令和2年度甲賀広域行政組合一般会計歳入歳出決算審査の概要となります。

総務関係においては、事務局長をはじめ、職員7人体制で議会、監査、人事給与、予算決算、契約管財、出納等多岐にわたる事務を掛け持ちしながら進められており、そのうち1人は消防部局から出向を受けている状況です。

衛生関係においては、いよいよ衛生センター第2施設(ごみ処理施設)の基幹的設備改良事業が始まり、施設の延命化及び長期安定稼働を目指すこととなります。4箇年、総事業費44億3,674万円をかけて行う大規模事業となりますが、令和2年度の工事は、遅滞なく順調に進んでいるとのことでした(令和2年度事業費3,479万7,400円)。基幹的設備改良工事の実施に伴い、定期点検整備工事の整備内容を精査するなど留意されていますが、今後も工事期間中の安全と進捗管理を徹底し、工事目的の達成と一層の効果を望むものです。

一方、令和2年度後半に、排ガス中の水銀濃度が一時的に基準値を超える事案が発生しました。搬入されたごみが原因であるとのことですが、施設管理者として、限られた予算の中ではありますが、できる限りの対策と情報公開、平時からの適正運転に留意願います。また、衛生部門においては、退職不補充、民間委託推進の考えのもと業務遂行しているとのことでしたが、将来を見据えた長期的な視点で、より良い組織の在り方を模索し、事務事業の見直しや職員の適正配置により、適正かつ円滑な事務執行を望みます。

消防関係においては、住民の安心と安全を守るため、消防力の充実、体制強化に努められています。令和2年度事業では、地震災害、風水害時等に災害応急対策の拠点として安定した電力確保のため、導入から20年が経過した甲賀分署の非常用自家発電設備を更新され（事業費627万円）、消防車両においては湖南中央消防署配備の資機材搬送車を救助工作車へと昇格更新され、既に運用されています（事業費1億2,980万円）。また、新型コロナウイルス対策として搬送用アイソレーター装置を導入されています（事業費140万8,000円）。猛威を振るう新型コロナウイルス感染症ですが、今後も状況を的確に把握し、この難局を乗り越えることができるよう、構成市及び関係機関との連携、協力のもと対策を進めていただきますようお願いいたします。

甲賀広域行政組合は、甲賀市、湖南市約6万1千世帯、14万4千人余りの市民生活における快適な生活環境を守るため、社会生活の基盤であるし尿処理、ごみ処理及び常備消防という重責を担っており、市民にとって必要不可欠な業務を行っています。

新型コロナウイルス感染症拡大による社会経済活動の低迷に伴う厳しい財政状況の中ではありますが、構成市と本組合が機能的に一体となって、各事業目的の実現のため、真に必要とされる施策を十分に検証し、判断、決定のもと、必要な部分には必要な資源を投入し、適切な事業規模を確保していくことが、市民が望む快適な生活環境の維持、向上へとつながっていくと考えます。

今後も構成市との連携をより密にし、一層の経済性・効率性・有効性・透明性に留意した適正な事務運営を望みます。

以上